

みんなでダンス 楽しいな

放課後デイサービス「もあ」



八学大教員と連携 子ども療育に一役

ハ
戸

八戸市湊高台の放課後等デイサービス「Love & Smile」(ラブ・アンド・スマイル)もあが、八戸学院大学の教員と連携してダンスタイムを実施している。利用者の小中学生たちが生き生きと体を動かし、心から楽しい時間を過ごしている。

(近藤弘樹)

「次はボックスステップで。はい、右、左、右、左」。5月下旬、「もあ」の一室に八学大健康医療学部の佐貫綾乃講師の声が響いていた。軽快な曲のリズムに乗って踊る子どもたち。曲が終わると「できたー」と声を弾ませ、笑顔があふれた。

「もあ」は、子ども未来サポート(本社札幌市)が八戸市内2カ所目の施設として今年3月に開設。定員は1日10人で、特別支援学校などに通う療育を必要とする児童生徒が利用している。

管理者の差波由佳子さん

佐貫講師の動きをまねて、生き生きとダンスをする子どもたち(5月28日)

によると、ダンスタイムは「子どもたちがさまざまなことに挑戦する中で、できた時のうれしい気持ちや自信を感じてほしい」と週1回のペースで行っている。

「踊るのは楽しい。好き」と小学4年生の女子。中学2年生の女子は「難しいところもあるけれど、みんなでリズムに合わせられた時は楽しい」と話す。

佐貫講師は「ダンスで気持ちをしなやかに、勉強などに向かえるようになればいい」と語る。ダンスを通じて、自分自身の体の向きや腕の位置が今どうなっているのかといった身体感覚の向上につながることも期待されるという。

差波さんは「施設スタッフ以外の人に『いいね。すごいね』と褒められると、子どもたちの自己肯定感が高まる。ダンスの動きの中から個々の課題も見えてくる。地域の関係機関と連携し、一人一人を大切に療育していきたい」と話した。